

令和3年度 6年生を送る会 校長あいさつ

いよいよ「6年生を送る会」が始まります。

今年のテーマは

「ありがとうの気持ちをのせて ～未来へはばたけ！6年生～」です。

このテーマは5年生が決めました。決めるときに、学級でいろいろな意見を出し合い、1つ1つの言葉や文字にまでこだわって、検討したそうです。私はこのエピソードを担当の所先生から聞いたときに「今年の6年生を送る会もきつとうまくいく！」と思いました。

テーマにある「ありがとう」という気持ちは目に見えるものではありません。だからこそ、在校生の皆さんは6年生への気持ちを何とか目に見える形で表そうと考え、工夫し、準備してきたと思います。相手を思い、その人のために何かをしたいと考えることから「ありがとう」は始まるのです。だから、テーマ一つにもこだわって始まった今年の6年生を送る会も、きつとうまいきます！

今年は残念ながら、体育館のステージでの発表ができなくなりました。みんなで同じ空間でこの会をすることもできず、それぞれの教室からの発表となります。とても残念なのですが、でも、こんな状況をみんなで知恵を出し合って乗り越えようとしたことも私たちにとっては大切な宝物になるはずです。

ボディパーカッションでの全校合奏もそんな工夫の一つです。声は出さなくても、みんなで音楽を作り上げる楽しさを味わい、その瞬間の気持ちも6年生へのプレゼントにしましょう。

6年生の皆さん、今、どんな気持ちですか。ちょうど一年前、皆さんは体育館に大きくす玉を用意して、6年生に感謝の気持ちを伝えました。あれから1年。今は「ありがとう」をもらう立場になりました。1年生から5年生までの気持ちをしっかり感じて、受け止めてください。それをこれから始まる新しい生活へのエネルギーに変えてほしいと思います。会の最後では「マーチングバンド引継ぎ式」が待っています。大切に受け継いだ楽器に想いを込めて、後輩たちにバトンタッチをしてください。

離れていても心はひとつ！

さあ、みんなでこの校舎を「ありがとう」の気持ちでいっぱいにしましょう！

(令和4年3月4日 学校長)